

令和2年度事業計画
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

はじめに

時代が平成から令和に替わり、日本全体が急速な超高齢社会になりつつあり、「人生100年時代」の到来です。社会全体の構造仕組みも大きく変化しています。本会も会員の高齢化、会員減少問題をはじめ、課題はたくさんありますが、このような時だからこそ人生100年時代に相応しい「自律自助」の精神で真正面から問題に取り組み、将来共により健全で充実した法人運営をはかりたいと考えます。

未来への希望をこめて、愈々令和二年が始まりました。本会は2018年度には、創立85周年大会を全国各地（東京・東海地区、近畿地区、中国地区、四国地区、九州地区）で実施し盛会裡に開催終了しました。気持ちを新たに、90周年に向かって歩み始めて2年目に入ります。又、公益社団法人として認可を受けて満8年を経過し、より一層の体制の充実が望まれるところです。

前年度の成果と反省

1. 2019年度は「温故新生」のスローガンに「視座を変えて」を合言葉として諸課題を

①「根本的にみる」②「多面的、多角的な角度からみる」③「長期的な視野でみる」方針で取り組んでまいりました。

(1) 会員増員対策の更なる展開

- ① 会員獲得のための徹底した推進活動については、今後も継続すべき課題である。現在「第3次増員対策委員会」を立ち上げ、具体的に進めつつあるが、本部と各会との協力体制がまだ十分に図れていないと思われる。
- ② 各地で開催する吟詠普及推進事業においては、各地区工夫を加え、不特定多数の方々が参加して楽しめるように考えて実行した。
- ③ 再入会促進キャンペーンは、継続実施した。
- ④ 学生会員対策については、小・中学生を500円、高校生以上の学生会員を通常の半額会費とし、準会員としてカウントする件に関して、理事会の承認を得、2020年度の総会に諮る事とした。2019年12月に各地区別に説明会を実施。総会承認後、4月に遡って実施することにした。
- ⑤ 高齢者対策の一環として、吟詠歌謡「西郷隆盛」を発表。第2弾、第3弾については、2019年度内に発表。又、師範以上の会員で90歳以上の方については、その会費を半額とし、理事会の承認を得た。その実施については、学生対策と同様である。
- ⑥ 若年層対策について、構成吟（一寸法師）を絵コンテを用いてDVD化し発表した。

(2) 定年問題

「定年問題検討委員会」を設置。委員会を軸とし、多面的な議論を経て、関連する「細則・規程」の見直しを行い、一定の結論を導き、理事会の承認を得た。総会での承認後、2021年度から適用するはこびとなる。この問題は、昭和60年以来の構造にメスを入れる事項でもあり、元老・相談役にも意見をお聞きし、2019年12月に全国11地区の公認団体代表者、代議員の方々を対象に説明会を実施した。なお、新春吟詠大会当日、午前中に元老・相談役・参与・代議員会議を開き、議事として提出し丁寧に説明した。

(3) 局部制の実施は三年目に入りより充実しつつある。本会が抱える問題点や事業推進をより専門化し、確実に着実に実行できつつあると考える。

(4) 経費削減策

経費節減に努力したが、十分な効果が見えてこない。各事業の赤字額の改善、固定費削減等、更なる対策が必要。

(5) 会館建設問題は、2018年度に、身の丈に合った方向で最善の結果を得たと考えているが、引き渡しは2019年4月になった為、この決算と残余金の新たな特定資産としての積立活用処理が残っているが、内閣府の承認も頂きましたので、90周年・95周年記念大会積立金及び会館維持引当金に充当する。

この件は、無駄なく、最善の解決見通しがたったと考えている。

2. 積み残した課題と検討

(1) 会員増員対策

数々の施策（吟詠普及推進事業研修会・指導者養成講座(東明未来塾)・吟詠歌謡等を継続実施してきたが、会員減少傾向に歯止めはかからず、高齢化による退会者が増加する厳しい状況は、今後益々顕著になる可能性もある。

何としても、減少傾向に有効な対策を立て、継続してたゆまず努力する必要があると考える。また、各会の会主会長の高齢化に伴い、会そのものの存続衰微が懸念される会が出てきている、地区連合会との連携も含め、慎重かつ着実な対応が必要となっている。

(2) 経費節減対策

会員減少に伴い、基幹収入の確保が難しくなっており、事業の見直しも含め更に抜本的な経費削減策を講じなければならない。中期計画の見直しが必要である。

令和2年度基本方針

会 訓 「一生初心」
スローガン 「温故新生」 (視座を変えて)

重点施策

1. 会員増員対策の更なる展開

① 会員獲得の為の徹底した推進活動

本部が、各会が、そして会員が何を為すべきかを真剣に考え、協力体制をつくり、視座を変えて「自律自助」の精神で幅広く実施する。また、「ひとり一声運動」の更なる展開を図る。

② 各地区で開催する吟詠普及推進事業・研修会の継続実施。

不特定多数の方が参加できる内容の更なる検討。

③-1 指導者養成講座・東明未来塾（本部及び地方）の継続実施。

実施方法の検討。（勉強に王道はないが、動員力を高める工夫をする）

2 吟道大学の継続実施。

1 及び 2、共に指導者（技術・知識）の高位標準化を図る工夫をする。

④ 再入会促進キャンペーンの継続実施。

⑤ 高齢者・幼少年の活動対策。

⑥ 青年・壮年層（活動の中心となる層）の吟詠普及活動対策。

⑦ 地区の問題点を共有し、解決に努力する。（20名以下の会の対応等）

2. 経費節減対策の実施

① 新たな10ヵ年計画を基に、業務の効率化を図り、経費を削減する。

3. 局部制の更なる推進

① 局部会の内容の充実と迅速化・効率化を推進。

4. 定款施行細則・規程類の見直しと整理の実施。

5. 公益事業の更なる推進

① 承認会事業及び地区連合会との更なる連携。

② 本部事業の見直し。

6. 90周年記念大会に向けて。準備委員会の発足、記念誌発行の企画。

令和2年度事業計画

自：令和2年4月1日～至：令和3年3月31日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行う

公益目的1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを、広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。又、地区事情に合わせて、新指導者の研修を組込。

① 2020 全国吟詠大会 in 大阪

出演者は全国より推薦された師範代以上の指導者で、広く一般の方々に古典芸能としての吟詠を、さまざまな形でお聞きいただき、吟詠普及に努める。又、幼少年・青年層の育成の為発表の場を作り、吟詠の普及継承を図る。

・令和2年10月18日（日） 大東市総合文化会館サーティホール
約1,100人参加予定（内一般会員他300人）

② 新春吟詠大会

新年を寿ぎ全国より会員及び不特定多数の者が集い、関西吟詩の優秀吟者の吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に、懇親を深める。

・令和3年1月10日（日） 太閤園ダイヤモンドホール
約250人参加予定（内一般会員他30人）

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会（一般来聴公募）

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠を鑑賞頂く。

- ・吟詠普及研修会(新教本講習会)兼推薦師範講習会・・・令和2年6月14日（日）
約250人参加予定（内一般会員他100人） 中止（推薦師範者は作文提出）
- ・九州大会 令和2年7月26日（日） 約150人参加予定（内一般会員他60人）
- ・岡山大会 令和2年8月30日（日） 約100人参加予定（内一般会員他30人）
- ・京滋福井大会 令和3年2月14日（日） 約160人参加予定（内一般会員他60人）
- ・東海大会 令和3年2月21日（日） 約400人参加予定（内一般会員他100人）
- ・和歌山大会 日時未定 約100人参加予定（内一般会員他30人）
- ・四国大会 令和3年2月23日（祝） 約150人参加予定（内一般会員他30人）
- ・西中国大会 令和3年3月20日（祝） 約200人参加予定（内一般会員他80人）

(2) 周年記念大会

①総本部：創立90周年を令和5年に控え、準備委員会を立ち上げる。

②地区連合会：

- ・滋賀県連合会 令和2年10月18日 約100人参加予定（内一般会員他30人）
- ・和歌山県連合会 令和2年11月29日 約150人参加予定（内一般会員10人）

③各公認団体等の記念大会等への後援

- (3) 吟詠普及啓発活動の実施
- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。
 - ・ 小中学での課外授業への積極的参加
 - ・ 公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
 - ・ 幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
 - ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進
 - ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・ 公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞のDVD」の提供
 - ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的参加
 - ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加
- (4) 吟詠普及啓発活動助成事業
前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行う。
- (5) 全国青年部吟詠大会（一般来聴公募）を行う。中止（新型コロナウイルスの為）
青年部主導で令和2年5月31日（日）クレオ大阪東に於いて、青年部員吟詠、幼少年吟詠、役員吟詠、他流優秀吟者吟詠、関西吟詩優秀吟者吟詠、青年部による構成吟の発表で詩歌吟詠の普及と伝承を図る。
予定参加者 約400人（内一般会員他150人）
- (6) 電磁的公報、機関誌発行
- ① 吟詠普及の為のテレビ放映の検討
マスコミを通じての吟詠推進活動の実実施計画をたて、継続して不特定多数の人に詩吟をアピールする努力をする。
 - ② ホームページでの吟詠普及
 - ・ ホームページ画面の改良の実施
より見易くする為、案内表示の改善検討。
教場紹介コーナーの設置の検討
 - ・ 漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介。
 - ・ 特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介。
 - ③ 機関誌「吟詩日本」を発行（一般販売）
 - ・ 時代に即応できるよう改善実施する。
 - ・ 漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
 - ・ 「吟詩日本」発行（189号、190号、191号、192号）
- (7) 教本発行（一般販売）
- ① 教本冊子頒布
 - ・ 新教本初級編他（既刊教本）の頒布。
 - ・ 新教本B その1・その2（新刊教本）の頒布。
 - ② 「和歌・俳句・新体詩(近代詩)」縮刷本の検討
- (8) 海外移動教室の開講
新型コロナウイルス発生のため「中国漢詩紀行」の開講を中止。
- (9) 国内移動教室の開講
国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上に資する。
・ 地区連合会や公認団体の集合が主催で進める。
- (10) 災害復興支援活動の実施
・ 災害復興義援金の募集活動継続実施（イベント毎に呼掛け）

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催 (一般来聴歓迎)

- ① 全国新人中間層競吟大会 エーリック (尼崎)
令和2年11月8日(日) 予定参加者約600人 出吟者約250人
- ② 全国準師範師範代・指導者級吟士権大会 現代劇場(高槻)
令和2年12月6日(日) 予定参加者約600人 出吟者約250人
- ③ 全国競吟大会予選大会
 - ・大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区・岡山地区大会
 - ・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・和歌山地区大会
 - ・京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段審査、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規定に基づき昇段審査を行い合格者に段位を授与する。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠の普及活動に従事する。

- ① 昇段審査は内部規定に基づき、一次審査は公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施し、会長が認定する。

令和2年7月1日付及び令和3年1月1日付 昇段免許授与

- ② 地方昇格試験および研修会を実施する(師範・準師範・師範代)

福岡試験場 令和2年7月26日(日)

広島試験場 令和2年8月2日(日)

名古屋試験場 令和2年7月19日(日)

- ③ 昇格試験及び研修会実施 (総本部試験場)

師範 令和2年7月19日(日)

準師範 令和2年7月19日(日)

師範代 令和2年7月26日(日)

(昇格試験に合格したのものには、9月1日付で東明祭において免許状を授与する)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行う。

- ① 吟詠普及推進研修会

【公益目的1の詩歌吟詠の普及推進事業】に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行う

- ・ 吟詠普及推進研修会(新教本講習会)兼推薦師範講習会(総本部)
令和2年6月14日(日) 中止(推薦師範者は作文提出)
エーリック(尼崎) 約250人参加予定(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会
令和2年7月26日(日) 約150人参加予定(内一般会員他60人)
- ・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会
令和2年8月30日(日) 約100人参加予定(内一般会員他30人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会
令和3年2月14日(日) 約160人参加予定(内一般会員他60人)
- ・ 吟詠普及推進研修会東海地区大会
令和3年2月21日(日) 約400人参加予定(内一般会員他100人)

- ・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会
令和3年2月23日(祝)約150人参加予定(内一般会員他30人)
- ・ 吟詠普及推進研修会和歌山地区大会
日時未定 約100人参加予定(内一般会員他30人)
- ・ 吟詠普及推進研修会西中国地区大会
令和3年3月20日(祝)約200人参加予定(内一般会員他80人)
- ② 指導者研修会
 - ・ 推薦師範講習会 令和2年6月14日(日) 中止(推薦師範は作文提出)
 - ・ 総本部研修会(令和3年度 師範・準師範・師範代昇格試験課題詩講習)
令和2年11月22日(日) エーリック(尼崎)
長詩6題 和歌3題 律詩8題 絶句10題 約200人参加予定
 - ・ 新教本講習会
 - 1) 令和2年6月14日(日) 中止(新型コロナウイルスの為)
八句詩2題 約250人参加予定
 - 2) 令和2年9月13日(日) 大東市市民会館
八句詩2題 約350人参加予定
- ③ 吟道大学講座の開講
 - ・ 令和3年2月6日～7日 パナソニックリゾート大阪
 - ・ 漢詩、和歌、俳句、新体詩の吟詠技能・発声技能研修、中国・日本の歴史講座。 約150人参加予定
- ④ 新指導者養成講座「東明未来塾」の開設
漢詩鑑賞、作詩法、発声の学理、指導者の心構え、組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修、中国・日本の歴史講座
 - 総本部コース
 - ・ 開催回数

令和2年7月25日(土)	令和2年9月26日(土)
令和2年10月24日(土)	令和2年11月28日(土)
令和3年1月23日(土)	令和3年3月27日(土)
 - ・ 受講者数 50名
 - 地方コース
 - ・ 東海地区(静岡・愛知・三重含)3回/年
令和2年10月11日(日) 令和2年11月7日(土)
令和2年12月13日(日) ・受講者数 40名
 - ・ 四国地区(徳島・香川・高知・愛媛)
 - ・ 開催回数 2回/年 (1泊2日)
令和2年8月22日(土)～23日(日)・受講者数 40名
- ⑤ 作詩講座 (一般公募) 総本部 会議室
作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。
 - ・ 毎月第2金曜日 午後3時～5時00分迄
年12回(前期、後期に分けて) 予定参加者数 延約360人
- ⑥ 作詩添削
一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。

- 4回/年 予定応募作品数 約120作品
- ⑦ 漢詩鑑賞講座 (一般公募) 総本部 会議室
漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。
・2カ月1回 (年6回) 午後2時～4時00分迄
予定参加者数 延 約400人

(4) 研究会

- ・指導局指導部会 ・指導局教養部会 ・指導局教本作成部会
- ・秀詠グループ吟詠研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行う。

(5) 部会・委員会

- ・広報局広報部 ・広報局ホームページ委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行う

- ・広報局企画部

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言する。

- ・青年部

不特定多数の人及び青年層に対して広く吟詠普及活動を行う。

- ・作詩添削委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置する。

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等を頒布する。

(1) 参考図書販売

- ① 誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ② 作詩便覧 宮崎東明編
- ③ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CDの頒布

- ・和漢名詩選(6)他 (既存) 既存CDの頒布。
- ・本部指導者研修会収録編 (新作) 新作CDの頒布。

DVDの頒布

- ・「昔ばなし 一寸法師」他 既存DVDの頒布。

収益2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を交付する事業

- (1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業
- ① 昇段免状授与
所定の昇段審査に合格した者に対し免状を授与する。
令和2年7月1日付及び令和3年1月1日付
 - ② 昇格資格者への免状の授与(師範代・準師範・師範)
所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与する。
令和2年9月1日付
 - ③ 特別昇格(上師範・高師範・総師範)
推薦による昇格申請に従って審査し、特別昇格の称号を授与する。
令和2年9月2日付
- (2) 記章の販売
「師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- (1) 東明祭の開催と功労者顕彰 東明祭令和2年9月13日(日)
- ① 会員増員表彰(個人、支部、会) 令和2年9月1日付
 - ② 敬老祝、成人祝 令和2年7月1日付
 - ③ 功労者等顕彰の実施 令和2年9月1日付
細則第1-2号13条の顕彰基準に定める称号を授与。
吟功章 (上師範、高師範、総師範)
特別吟功章 (宗 範)
特別功労賞 (宗 帥)

4. その他の事業(法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

- (1) 定時総会の開催 令和2年6月6日(土) (書面による議決権行使)
- (2) 各種会議
- ① 総会
 - ② 役員会(正副会長会、理事会、)
 - ③ 元老・相談役・参与・代議員会議
 - ④ 局部会(管理局総務部・管理局財務部)
 - ⑤ 懇談会
青年部員懇談会
都府県連合会代表者会議
都府県連合会連絡協議会
公益業務改善委員会
 - ⑥ 東明未来塾運営委員会
 - ⑦ 特別審議委員会
 - ⑧ 創立90周年準備委員会(記念誌作成準備委員会)
 - ⑨ その他特別検討委員会